

学習動画「江戸川のなりたちを学ぼう!」「中川・綾瀬川のなりたちを学ぼう!」

参考資料

目次

1. はじめに(本資料の目的・位置づけなど).....	2
2. 学習動画「江戸川のなりたちを学ぼう!」「中川・綾瀬川のなりたちを学ぼう!」の概要.....	3
2.1 動画の概要.....	3
2.2 教科書・副読本において、学習動画を活用できる場面(参考).....	4
3. 学習動画内で使用した言葉の定義・意味・専門用語.....	5
4. 補助知識、関連資料など.....	5
4.1 江戸川・中川・綾瀬川の成り立ち.....	5
4.2 利根川の東遷・荒川の西遷.....	5
4.2.1 利根川の東遷.....	5
4.2.2 荒川の西遷.....	7
4.3 河川改修の様子.....	7
4.4 荒川放水路の成り立ち.....	8

江戸川版

中川・綾瀬川版

学習動画をご使用の際に
参考としてお役立てください



学習動画 (mp4 ファイル) の再生環境等について

- ◇本動画は、一般的なパソコン環境で再生できる「mp4 形式」の動画ファイルです。mp4 形式に対応した再生ソフトがあれば再生可能です。
- ◇おおむね 10 年以内に購入されたパソコンであれば、Windows / macOS / ChromeOS 等、いずれの環境でも特別な設定を行わずに再生できます。(OS やバージョンの制限はありません。)
- ◇再生できない場合は、再生ソフトの変更(例:VLC メディアプレイヤーの使用)をお試しください。

1. はじめに(本資料の目的・位置づけなど)

このたび、国土交通省江戸川河川事務所では、地域(江戸川流域、中川・綾瀬川流域)の小学校における防災教育支援の一環として、児童が地域の河川や水防災に関する理解を深め、主体的に防災について考えるきっかけとなるよう、下表に示す計9本の学習動画(各3分程度)を作成いたしました。これらの学習動画は、小学校4年社会科「自然災害から人々を守る活動」及び5年理科「流れる水の働きと土地の変化」の単元で活用していただけるものとなっております。

本資料では、各学習動画を活用できる場面に加え、学習動画に載せきれなかった内容や、先生方の補助となるような知識・資料などをとりまとめました。ぜひ授業にご活用ください。

令和8年3月 国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所

No.	学習動画タイトル
1	全国でこれまでに起こった主な水害と地いきで起こった大きな水害
2-①	江戸川のなりたちを学ぼう!
2-②	中川・綾瀬川のなりたちを学ぼう!
3	水害からまちを守るヒーロー～首都圏外郭放水路～
4	水をためる!まちを守る身近な取り組みを知ろう!
5	大雨がふると、川やまちはどうなる?～「外水はんらん」と「内水はんらん」～
6	江戸川・中川・綾瀬川の川と流域のとくちょうを知ろう!
7	流れる水のはたらき(しん食)とその対さく
8	3つの川のチームワークがまちを水害から守る!

【参考】

国土交通省では、児童・生徒向けの「防災学習ポータルサイト」及び教員向けの「防災教育ポータルサイト」にて、理科、社会、総合的な学習の時間等の授業に活用できる素材を掲載しております。これらのサイトには、各教科の学習内容に対応した学習動画をはじめ、児童・生徒が楽しみながら防災行動を学べるカードゲーム、水害等の避難訓練や防災教育を実施する際のポイントを示したガイドブック等を掲載しており、学校や地域における防災教育を支援しております。こちらもぜひご活用ください。

- ◆ 防災学習ポータルサイト(子ども向け) <https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/>
- ◆ 防災教育ポータルサイト(教員向け) <https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/teacher.html>



2. 学習動画「江戸川のなりたちを学ぼう!」「中川・綾瀬川のなりたちを学ぼう!」の概要

2.1 動画の概要

本動画は、関東を流れる一級河川である「江戸川」・「中川」・「綾瀬川」の成り立ちについて学ぶことができる防災学習教材です。

動画では、かつての利根川や荒川の流路変遷、治水の歴史、人々の暮らしとの関わりなどを、小学生でも理解しやすい写真や図を用いて視覚的に示しながら説明しています。また、単なる地理的知識にとどまらず、なぜ現在の川の姿になったのかという背景をたどることで、身近に流れている川への理解を深めることをねらいとした動画となっています。

さらに、川の名前の由来や周辺の地名との関係にも触れることで、地域の歴史や自然環境がどのように現在の地理と結び付いているのかについても学ぶことができます。

2.2 教科書・副読本において、学習動画を活用できる場面（参考）

参考としてお示ししているものであり、活用箇所や使い方を指定するものではありません。

【4年社会科】

■具体例

市町村発行の社会科副読本については、例として三郷市・吉川市のものを挙げさせていただきます。

東京書籍「新編 新しい社会4」（令和6年2月） 単元3 自然災害から暮らしを守る	P76～77 くり返し起きてきた風水害 調べる
---	----------------------------

「風水害から暮らしを守るために、人々がどのようなことをしてきたのか」について、江戸川・中川・綾瀬川の歴史における治水の一例として、「利根川の東遷・荒川の西遷」事業を学ぶために学習動画をご活用いただけます。

三郷市教育委員会「ふるさと三郷」（令和7年4月） 単元7 自然災害から人々を守る活動	P161 県や国による水害へのそなえ
---	--------------------

吉川市教育委員会「わたしたちのよしかわ 4年」（令和6年4月） 単元4 二つの川の開発と吉川の発展	P56～57 中川の改修
--	--------------

教科書や副読本にある川の歴史や治水事業について学ぶと同時に、江戸川・中川・綾瀬川において古くから行われてきた河川改修事業（利根川の東遷・荒川の西遷）をより詳しく学ぶために学習動画をご活用いただけます。

【5年理科】

■具体例

学校図書「みんなと学ぶ 小学校理科5年」 単元 川と災害	P120、121 コラム：川の流れを切りかえて 水害から平野を守る～大河津分水路～
---------------------------------	--

「川の流れを切りかえて水害から平野を守る～大河津分水路～」について、この事例のように、江戸川・中川・綾瀬川流域においても過去に水害から地域を守るための河川改修事業（利根川の東遷・荒川の西遷等）が行われてきたことを知るために学習動画をご活用いただけます。

3. 学習動画内で使用した言葉の定義・意味・専門用語

No.	学習動画内での言葉(児童向けの表現)	定義・意味・専門用語
1	「(川のお引っこし)」	治水や新田開発、舟運などの目的のために自然の流路をショートカットしたり、新たな流路を造ったりするなどし、河川の流路を人工的に変更すること。 (河川の流路変更を、児童にとって親しみやすい用語として言い換えた表現)

4. 補助知識、関連資料など

4.1 江戸川・中川・綾瀬川の成り立ち

江戸川・中川・綾瀬川の成り立ちには、利根川の東遷と荒川の西遷が大きく影響しています。かつて利根川や荒川の本流であった川から、川を締めきったり、新たに開削したり、分けたりすることによって河川の移動が行われました。このような事業を、本教材では「お引越し」という言葉で表現しています。

4.2 利根川の東遷・荒川の西遷

4.2.1 利根川の東遷

(1) 利根川の東遷について:

江戸へ入府した徳川家康は、様々な河川事業に着手しました。中でも一大事業であったのが、それまで江戸湾(東京湾)に流れ込んでいた利根川の流路を太平洋へと変更するという「利根川東遷事業」です。約60年かけて実現したこの事業によって、それまで太日川(ふといがわ)と呼ばれ、渡良瀬川の下流部だった川が、利根川の分流・江戸川として生まれ変わったのです。

参照:パンフレット「江戸川・中川・綾瀬川~Watch the river~」(平成21年3月 江戸川河川事務所)

https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000019757.pdf



(2) 東遷の目的(諸説あり):

利根川の東遷の目的は、江戸のまちを水害から守りつつ、新田開発を推進すること、舟運を開いて東北と関東との交通・輸送体系を確立することなどに加えて、東北の雄、伊達政宗に対する防備の意味もあったといわれています。特に治水の側面においては、元々江戸湾(現在の東京湾)に注いでいた利根川が、太平洋に流れを変えたことで、洪水による被害が江戸に集中するのを防ぐことにつながりました。

参照:利根川上流河川事務所ウェブサイト「利根川の東遷」

<https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/tonejo00185.html>



(3) 江戸川の成り立ち:

江戸時代初期に行われた利根川の東遷事業(東京湾にそそいでいた利根川を現在の銚子方面へ切りかえ)の一環として1600年代初頭、現在の千葉県関宿から金杉(埼玉県松伏町)までの18 kmが開削され誕生しました。

参照:国土交通省ウェブサイト「江戸川」

https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kasen/jiten/nihon_kawa/0305_edogawa/0305_edogawa_01.html



(4) おおとしふるとねがわ大落古利根川:

「大落」とは、大きな農業排水路という意味があります。古利根川と大落古利根川は同じ川を指しています。

参照:埼玉県総合治水事務所ウェブサイト「大落古利根川」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b1015/123-ootosihurutonegawa.html>



4.2.2 荒川の西遷

(1) 荒川の西遷について:

江戸時代以前の荒川は、現在の元荒川の位置に流れており、越谷付近で当時の利根川（現在の古利根川）に合流していました。荒川はその名のとおり「荒ぶる川」であり、氾濫や乱流を繰り返していました。江戸時代初期に改修が行われ、現在の荒川の流路が作られました。

参照:国土交通省ウェブサイト「荒川」

https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kasen/jiten/nihon_kawa/0306_arakawa/0306_arakawa_01.html



荒川の西遷により、荒川は熊谷市久下で締め切られ、和田吉野川・市野川・入間川筋を本流にする流れに変わりました。

参照:荒川上流河川事務所ウェブサイト「荒川の歴史」

<https://www.ktr.mlit.go.jp/araajo/araajo00031.html>



(2) 西遷の目的:

埼玉県東部地域の新田開発や舟運の発達を促進し、周辺の町を発展させるため、また地域の水害を減らすために荒川を西へ移しました。

(3) 中川・綾瀬川の成り立ち

中川はかつて利根川や荒川の本流でしたが、東遷や西遷を行ったため流量が減少し、その後は主に用・排水路として使用されるようになりました。

綾瀬川は、荒川分流口に堤(備前堤^{びぜんづつみ})が築かれたことで荒川と分離され、その後は灌漑^{かんがい}の用・排水路として使用されるようになりました。

参照:国土交通省ウェブサイト「中川・綾瀬川」

https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kasen/jiten/nihon_kawa/0311_naka_ayase/0311_naka_ayase_01.html



4.3 河川改修の様子

以下の動画は、最近の河川改修の様子を示した動画です。締め切りや開削の様子がわかりやすく映っています。

- ・「小田川合流点付替え事業 令和6年3月完成」(国土交通省高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所 YouTube チャンネル)

https://youtu.be/RoJg8UK2Mv0?si=FPg_H8vN2htahFMb



4.4 荒川放水路の成り立ち

荒川の西遷後、東京の下町を水害から守る抜本策として、明治44年(1911)に荒川放水路事業が開始されました。荒川放水路の洪水の流量(計画流量)は、岩淵地点における明治40年洪水での推定流量に基づき、毎秒3,340 m³を荒川放水路に流下させ、隅田川には堤防がなくても洪水が氾濫しない流量として毎秒830 m³を流下させるものとなりました。工事中には関東大震災などが発生し、予定が遅れることもしばしばありました。

大正13年(1924)の岩淵水門完成によって上流から下流までが繋がり、その後関連する工事が進められ、昭和5年(1930)に荒川放水路は完成しました。

参照：荒川下流河川事務所ウェブサイト「荒川放水路の変遷」

<https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00031.html>

